健康保険 被保険者資格取得届

令和	口 年	月	日 提	出					ŕ	常務	理事	P	事務	長		f	系		係
提出	事業所記号																		
	事業所	届書記入の個人	番号に誤りがない	いことを確認し	ました。														
	所在地	〒 -																	
出者記入	事業所																		
入欄	名 称 事業主									衬	t会保険労	務士訂]載桐	E					
III	氏 名										名 等	<i>323</i> — H	- 194 (1)	.,					
	電話番号		()															
	1		2	(フリガナ) (氏))		(名)		 ③ 生	在	5.昭和		年	月		B	4	1. 男	5. 男(基金)
	被保険者 整理番号		氏名	(24)			(1)		月		7.平成 9.令和						種別	2. 女3. 坑内員	6. 女(基金) 7. 坑内員 (基金)
被	⑤ 取得	1.健保·厚年 3.共済出向	⑥ 個人							得	9.令和		年	月		П	8 被扶	O. 無	1. 有
被保険	区分	4.船保任継	番号							(当) 月日	o. 13-14						養者	О. <i>Л</i> К	6
者	9 報酬 月額	⑦(通貨) 円 ⑦(合計⑦+①) ⑦(現物) 円								考	該当する項目をOで囲んでください。 1. 二以上事業所勤務者の取得 2. 短時間労働者の取得(特定適用事業所等) 4.その他()								
	11)	住民票 〒 -								の場合は該当する項目を			② 次枚体到事			□ 発行が必要 発行理由 ()			
	住 所	住所 							 ○で囲んでく 1.海外在住 3.その他(ください。 2.短期在留)			資格確認書 発行要否		ŀ	※裏面の記入方法⑫に記載の 発行理由を記入		
				[/au#1)									<i>(</i> -	発行	理由	-		打座田を	記入
	① 被保険者		2	(フリガナ) (氏)	"		(名)		 3 生		5.昭和 7.平成		#	Я		日	4	1. 男 2. 女	5. 男(基金) 6. 女(基金)
	整理番号	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	氏名	+ -		1 :	<u> </u>	1 :	 月	日	9.令和		年	月		日	種別	3. 坑内員	7. 坑内員 (基金)
被保	⑤ 取得	1.健保·厚年 3.共済出向	⑥ 個人						⑦ 取	得	9.令和		_	7	li	п	8		
保	区分		番号							(当)	0. s H						被扶 養者	0. 無	1. 有
被保険者	区分	4.船保任継 ⑦(通貨)			円		含計⑦+④)		月日	該当する項目						養者		
保険者 2	区分9報酬月額	4.船保任継 ⑦(通貨) ⑦(現物)			円		含計⑦+④)	年 10	月日		業所勤務	者の取得(特)	双得 定適用事業所 	听等)		養者 退職後の継続 の他(再雇用者のほ	取得
者	区	4.船保任継 ⑦(通貨)					合計⑦+④)	(II) (借用) (任所) (任所) (工作)	月日 考 「空欄の 目んでくか	該当する項目 1. 二以上事ま 2. 短時間労働 つ場合は該当す	業所勤務 動者の取	者の取得(特)	双得 定適用事業所 12 資格石	在認書	4.~	養者 退職後の継続の他(発行	_{再雇用者の記} 発行が必理由(要)
者	区分9報酬月額	4.船保任継 ⑦(通貨) ⑦(現物) 住民票 〒					슬計⑦+④)	便 他 作所为	月日 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	該当する項目 1. 二以上事業 2. 短時間労働	業所勤務 動者の取	者の取得(特)	2得 定適用事業所 12) 資格研 発行		4.~	養者 退職後の継続の他(_{再雇用者の記} 発行が必理由(取得 要) ⑫に記載の
者	区	4.船保任継 ⑦(通貨) ⑦(現物) 住民票 〒 住所			円 一		含計⑦+⑦)	年月 100 備 円 住所が囲 1.海外	月日 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	該当する項目 1. 二以上事ま 2. 短時間労働 の場合は該当ま ださい。 2.短期在留	業所勤務 動者の取	者の取得(特)	2得 定適用事業所 12) 資格研 発行	確認書 要否	4.~	養者 退職後の継続の他(再雇用者の! 発行が必 理由 (記入方法	取得 要) ⑫に記載の
者	図 報 別 間 住 所	4.船保任継 ⑦(通貨) ⑦(現物) 住民票 〒 住所	- -		円 一		含計⑦+②		年 (II) (開 (性所が 1.海外 3.その	月日 考 パ空欄のでくか 日本化(該当する項目 1. 二以上事業 2. 短時間労働 の場合は該当っ ださい。 2.短期在留	業所勤務 動者の取	者の取得(特)	2得 定適用事業所 12) 資格研 発行	確認書 要否	4.~	養者 思職後の継続 の他(発行 ※裏面の 発	無用雇用者の! 発行が必理由 (記入方法 行理由を	要) (②に記載の 記入 5.男(基金) 6.女(基金) 7.坑内員
者 2	区	4.船保任継 ⑦(通貨) ⑦(現物) 住民票 住所 居所	C C C C C C C C C C C C C C C C C	(フリガナ)	円 一				年 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	月日 考 が空棚のでくか 年日	該当する項目 1. 二以上事 2. 短時間労働 ださい。 からださい。 5.昭和 7.平和 9.令和	業所勤務 動者の取	者の取得(特)	2得 定適用事業所 12) 資格研 発行	確認書 要否	4.~	養者 思職後の継続の他(発行 ※裏面の発 4 種別	再雇用者の引 発行が必理由(記入方法 行理由を 1. 男 2. 女 3. 坑内員	要) ⑫に記載の 記入 5. 男(基金) 6. 女内員 (基金)
者 2	区 9 報月 ① 住條準 等 6 取区	4.船保任継 ⑦(通貨) ⑦(現物) 住民票 〒 住所 下 居所	- C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	(プリガナ)	円 一		(名)		年 (10) 備 (中) 体備 (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中)	月日 考 パ空欄のでくか 日本化(該当する項目 1. 二以上事ま 2. 短時間労化 ひ場合は該当で ださい。 2.短期在留) 5.昭和 7.平成	業所勤務 動者の取	者の取り (特) (年) 年	2 2 2 2 2 2 3 4 4 4 4 5 4 7 7 7	確認書 要否	4.そ	養者 型職後の継続の他(一 発行 ※裏面の発	発行が必理由 (記入方法 記入方法 記入方法 に行理由を 1. 男 2. 女	要) (②に記載の 記入 5.男(基金) 6.女(基金) 7.坑内員
者	区 9 報月 ① 住 (保理) (5) 取	4.船保任継 ⑦(通貨) ①(現物) 住民票 住所 居所 下 1.健保·厚年 3.共済出向 4.船保任継 ⑦(通貨)	- 2 氏名	(プリガナ)	円 一	3 (1)			年 10 備 株 中 10 体 10 体 13 を 4 10 体 10 k 10 k	月日 考 学	該当する項目 1. 二以上事 2. 短時間労働 ださい。 からださい。 5.昭和 7.平和 9.令和	業動 新動 する 可 の で で で で で で で で で で で で で	者得(を年の)を存在を生まれる。 年年 日紀舎の時代 100 日本の町 10	(神) ではい。 (大ださい。 (大ださい。 (大ださい。) (大ださい	在認書	4.そ	養者 BB職後の維制 発行の免 発行の免 (4) 種別 (8) 被養 機秘 (4)	再雇用者の引 発行が必理由(記入方法 行理由を 1. 男 2. 女 3. 坑内員	要 (①に記載の記入 5. 男(基金) 7. 坑内員 1. 有
者2 被保険者	区 報月 住 取区 報号 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	4.船保任継 ⑦(通貨) ⑦(現物) 住民票 住所 居所 1.健保・厚年 3.共保任継 ⑦(通貨) ②(現物) 住民票	- 2 氏名	(プリガナ)))	3 (1)	(名)		年 (10) 備 (中) 体 (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中)	月日 考 「学生を担ける」 「	該当する項目 1. エリロ目等 1. エリロ目等 2. 短時間 場合は該当 2. 短期 5. 昭平和 9. 令和 9. 令和 9. 令和 1. エリー 1. エリー 1	案所動物取 東動者 する 項目 で動物取 で動物取 で動物取取	者得(を) 年 年 別人の助特 (())	復得 定適用事業 ① 資格行 発行 月 月 (ださい。 収得 適用事業)	在認書 理由	4.そ 日 3. ii 4.そ	養者 思職後の維制 発行の免 発行の免 発荷の免 不養 別	再雇用者の1 発行が必理由 (方法を理記入理由	要) ⑫に記載の 1. 有 取得 要
者2 被保険者	区 報月 (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (5) (5) (4) (5) (4) (4) (4) (5) (4) (4) (4) (5) (4) (4) (4) (5) (4) (4) (4) (5) (4) (4) (4) (5) (4) (6) (4) (7) (4) (7) (4) (8) (4) (7) (4) (8) (4) (7) (4) (8) (4) (8) (4) (8) (4) (8) (4) (8) (4) (8) (4) (8) (4) (8) (4) (8) (4) (8) (4) (8) (4) (8) (4) (9) (4) (10) (4) (10) (4) (10) (4) (10) (4) (10)	4.船保任継 ⑦(通貨) ⑦(現物) 住民票 住所 居所 1.健保・厚年 3.共済出向 4.船保任継 ⑦(通貨) ⑦(現物)	- 2 氏名	(プリガナ)))	3 (1)	(名)		年 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	月 考 欄の付 を組み在他 年日 得当日 考 空ル在住 (該当する項目 1. エリロ目等 1. エリロ目等 2. 短時間 場合は該当 2. 短期 5. 昭平和 9. 令和 9. 令和 9. 令和 1. エリー 1. エリー 1	案所動物取 東動者 する 項目 で動物取 で動物取 で動物取取	者得(を) 年 年 別人の助特 (())	(神)	在認書 理由	4.そ 日 3. ii 4.そ	養者 BB職後の維制 発面の角 発面の角 (4) 種類別 (8) 被養 (4) 種類別 (5) との発 (6) との発 (7) の発 (7) の発 (8) との機制 (9) との発 (10) に対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	無雇用者のの 発行が必 理記入理由 (方法を 1. 男 2. 気内員	要) ②に記載の 記入 5. 男(基金) 6. 女 坑内員 1. 有 取得) ②に記載の
者2 被保険者	区 報月 住 ① 被整 取区 報月 住 小 翻額 所 6 取区 報月 住	4.船保任継 ⑦(通貨) ⑦(現物) 住民票 居所 1.健保·厚年 3.共保保健 ⑦(通貨) ⑦(現物) 住民票 住所,〒		(プリガナ))) ——————————————————————————————————	3 (1)	(名)		年 (1) 備 (1) 備 (1) (2) (3) 生月 (3) 生月 (7) 収該年 (1) 備 (1) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	月 考 欄の付 を組み在他 年日 得当日 考 空ル在住 (該当する項事等 1. 2 短時間 1. 2 短時間 2 短時間 2 短時間 2 短時間 5. 昭平和 9. 令和 9. 令和 9. 令和 項事等制 場合は該当 1. 2 短時間 はきい。 場合はない。 現事が見 と 2 短期 は 在留	案所動物取 東動者 する 項目 で動物取 で動物取 で動物取取	者得(を) 年 年 別人の助特 (())	(神)	在認否 由 新等 認否	4.そ 日 3. 礼 4.そ	養者 BB職後の維 発面の 発面の 発面の 発面の 影被養 後の 発面の 影被養 後の 発面の 発面の 発面の 発面の 発面の 発表の 発表の 発表	無雇用者のの 発理記行理記行理記行 男女 3. 坑内由 入理 日本 2. 坑内由 入理 日本 2. 坑内由 入理 記行 日本 入理 記行 日本 1. 大山本 2. 大山	要 ②に記載の 1. 男(基金) 6. 女(基金) 7. 坑内食) 1. 有 取得 要) ②に記載の 1. 有
者2 被保険者	区 報月 住 (株理) 取区 報月 ① (株理) (事) (事) (事) ① (事) (事) (事) (事) ① (事) (事) (事) (事) (事) ① (事)	4.船保任継 ⑦(通貨) ⑦(現物) 住民票 居所 1.健保·厚年 3.共保保健 ⑦(通貨) ⑦(現物) 住民票 住所,〒	- 2 氏名	(フリガナ))) ——————————————————————————————————	3 (1)	(名)		年 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	日 考 「空ん在他 年日 得当日 考 「空ん在他 年日 得当日 考 「でんても でんしん 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	該当する項事等 1. 二以日間労 2. 短時間労 場合は該当 5. 昭平和 9. 令和 9. 令和 1. 二級時間労 場合は、 1. 二次時間労 場合は、 場合は、 場合は、 場合は、 場合は、 場合は、 場合は、 場合は、	案所動物取 東動者 する 項目 で動物取 で動物取 で動物取取	者得(特)を年年年のでの取り、	(神)	在認否 由 新等 認否	4.そ 日 3. 礼 4.そ	養者 BB職後の維制 発面の角 発面の角 (4) 種類別 (8) 被養 (4) 種類別 (5) との発 (6) との発 (7) の発 (7) の発 (8) との機制 (9) との発 (10) に対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	再雇用者のの 発生は 記行 1. 女 3. 城内員 0. 無 発理記入 発理記入 4. 女 6. 無 6. 無 8. 発理記入 6. 無 7. 女 7. 女 7. 女 7. 女 7. 女 7. 女 7. 女 7. 女	取得 要 ①に入 5. 男女坑(基金) 6. 水坑(基金) 7. (基金) 1. 有 取得 要 ①に入 5. 男女大内金) 1. 有 取得 要 (記入 5. 男女人内金) 6. 水坑(基金) 6. 水坑(基金) 6. 水坑(基金)
者 2 被保険者 3	区 報月 住 (未養) (本養) (本	4.船保任継 ⑦(通貨) ⑦(現物) 住住所 下 1.健保済保持(資) ②(現期) 住住所 ②(現期) 住住所 下 1.健保 · 厚年	2 氏名 ⑥ 個 番号 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(フリガナ) (氏))) ——————————————————————————————————	3 (1)	(名) (名)		年 (10) (備 所が世外で (1) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	日 考 「空ん在他 年日 得当日 考 「空ん在他 年日 得当日 考 「でんても でんしん 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	該当す以時間 該 1. 2. 短時間 は該当	案所動物取 東動者 する 項目 で動物取 で動物取 で動物取取	者得(特)を年年年のでの取り、	(神)	在認否 由 新等 認否	3. 3. 4.そ	養者 園職後の維制 一発面の 発面の ・※裏面の ・※裏面の ・※裏面の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	再雇用者のの 発理記行 1. 男女 3. 坑の 1. 男女 6. 無 7. 第年 7. 第年 7	取得 要 ①に記載の 5. 男(基金) 6. 女 (内金) 1. 有 取得 要 ①に入 1. 有 取得 要 ②に入 5. 男(基金) 7. (基金) 6. 女 (内金) 6. 女 (内金) 6. 女 (内金) 7. (基金) 6. 女 (内金)
者 2 被保険者 3 被保険	区 報月 住 ① 被整 取区 報月 住 快理 取区 分 酬額 所 除番 得分 酬額 所 除番 得分	4.船保任継 ⑦(通貨) ①(現物) 住住所 居所 1.健保予保育 (通貨) ②(現物) 住住所 居所 1.健保済保質) ②(現物) 住住所 居所	番号	(フリガナ) (氏)	円 円 円		(名)		年 10 備 (1) 備 (1) (1) (2) (3) (4) (7) (1) (4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	日 考 「空ん在他 年日 得当日 考 空ん在他 年日 得当日 欄の付 年日 得当日 欄の付 年日 得当日	該当す以時 1	業所者 項 で数称 する 項 目 で数称 項 目	者得(特) を年 年 年 年 年	標準の (特) (大) (特) (利) (大) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利	在認否 由 新等 認否	3. 3. 4.そ	養者 Bum後の維制 (型)	発理記行 1. 東層 2. 城内 (法を) まる (ままま) まままままままままままままままままままままままままま	取得 要 ①に入 5. 男女坑(基金) 6. 水坑(基金) 7. (基金) 1. 有 取得 要 ①に入 5. 男女大内金) 1. 有 取得 要 (記入 5. 男女人内金) 6. 水坑(基金) 6. 水坑(基金) 6. 水坑(基金)
者2 被保険者	区 報月 住 ① 被整 取区 報月 住 保理 取区 報月 住 保理 取区 動額 所 修者 得分 酬額 所 修者 得	4.船保任継 ⑦(通り) ⑦(現物) 住民所 下 1.健保済保育) ②(現際) (ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	2 氏名 ⑥ 個号 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(フリガナ) (氏))) ——————————————————————————————————	3 (f)	(名) (名)		年 10 備 (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中)	日 考 「空ん在他 年日 得当日 考 空ん在他 年日 得当日 欄の付 年日 得当日 欄の付 年日 得当日	該当す以時間 該 1. 2. 短時間 は該当	業新 す	者得(特) (() () () () () () () () () () () () (標準の 神楽 で	在要理 新	3. 汕 4. そ 日日日日	養者 a a a a a a a a a a a a a a a a a a a	再雇用者のの 発理記行 1. 男女 3. 坑の 1. 男女 6. 無 7. 第年 7. 第年 7	要 ①に記載の 5. 男 (基基金) 7. (基金) 7. (基金) 1. 有 取得 要 ①に入 5. 男 (基基金) 7. (基金) 7. (基金) 6. 女 内金) 6. 女 内金) 1. オ
者 2 被保険者 3 被保険者	区 報月 住 取区 報月 住 保理 取区 報月 住 保理 取区 報月 分 酬額 所 修者 得分 酬額 所 修者 得分 酬	4.船保任継 ⑦(通物) 住民所 1.健保済保貨) ②(現票) 1.健保済保貨) ②(現票) (中国的 (中国的 (中国的 (中国的 (中国的 (中国的 (中国的 (中国的	2 氏名 ⑥ 個号 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(フリガナ) (氏)) ————————————————————————————————————	3 (f)	(名)		年 1 10 備	日 考 宮紀在他 年日 得当日 考 塚空ん在他 年日 得当日 考 塚空ん在他 日 考 塚空ん在他 年日 得当日 考 塚空ん在他 年日 得当日 考 塚空ん在他	族 1. 1. 2 短 向 は	業所者 る 項	者得(を年年年) (1) 本名 (1) 和名	保障適用事業 (特定) (た) (特定) (で) (で) (特定) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で	在要理 新等認否由 新等認否由	日 日 3. 浏 4.そ	養者 20mの 一発面 1	再雇用 新ののの 必(法を 発理記行 1. 女 坑 (法を 1. 女 坑 (法を 1. 女 坑 (法を 1. 女 坑 (法を 2. 3. 坑 (法を 1. 女 坑 (法を	要 (②に入 (基基金) (5. 男(基基金) (7. (基基金)
者 2 被保険者 3 被保険者	区 報月 住 (株理) 取区 報月 住 (株理) 取区 報月 分 酬額 所 (株理) 取区 報月 (株理) 取区 報月 分 一 (株理) (株理)<	4.船保任継 ⑦(通物) 住住所 居所 1.健保済保貨) ②(現票所 1.健保済保貨) ②(民所 居所 1.健保済保貨) ③(民所 日本・厚田・経済保貨) ③(民所 日本・原田・原本・原田・原本・原田・原本・原田・原本・原田・原本・原田・原本・原田・原本・原田・原本・原田・経・原田・原本・原田・経・原田・経	番号	(フリガナ) (氏)) ————————————————————————————————————	3 (f)	(名)		年 1 1	月 考	族 1. 1. 2 短 向 は	業所者 る 項	者得(を年年年) (1) 本名 (1) 和名	標準 (記) (お) (お) (報) (記) (記) (報) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記	在要理 新等認否由 新等認否由	日 日 3. 浏 4.そ	養 a a a a a a a a a a a a a a a a a a a	再雇用 新ののの A 発理記行	要 (②に記載の) (基(基) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A

記入方法

提出者記入欄: 事業所記号を記入してください。

事業所 6 3

①被保険者整理番号 : 提出順に被保険者整理番号を払い出ししますので、記入する必要はありません。

②氏名 : 氏名は住民票に登録されているものと同じ氏名をご記入ください。フリガナはカタカナで正確にご記入ください。

③生年月日 : 年号は該当する番号を〇で囲んでください。生年月日は下図を参照し記入してください。

(5.昭和 年 月 日 7.平成 6 3 0 5 0 3 9.令和 6 3 0 5 0 3

④種別 : 下図を参照し、該当する番号を〇で囲んでください。

	男子	女子	坑内員
一般(基金未加入)	1	2	3
厚生年金基金加入員	5	6	7

⑤取得区分: 下図を参照し、該当する番号を〇で囲んでください。

	1.健保·厚年	健康保険・厚生年金保険の被保険者となったとき(船員保険適用者を除く)						
	3.共済出向	共済組合から公庫等へ出向した職員であるとき						
	4.船保任継	船員任意継続被保険者であるとき						

⑥個人番号 : 本人確認を行ったうえで、個人番号を記入してください。

⑦取得(該当)年月日 : 適用事業所に使用されるに至った日(事実上の使用関係が発生した日)、その使用される事業所が適用事業所となった日等を記入してください。

⑧被扶養者: 健康保険の被扶養者がある場合は「1. 有」を、ない場合は「0. 無」を〇で囲んでください。

「1. 有」の場合は『被扶養者(異動)届』の届出が別途必要です。

⑨報酬月額 : 「⑦(通貨)」は給料・手当等、名称を問わず労働の対償として金銭(通貨)で支払われるすべての合計金額を記入してください。

※1 臨時に支払うものや、3月を超える期間ごとに支払う賞与等は対象となりません。

※2 週給の場合は、報酬額を7で割って得た額の30倍に相当する金額を記入してください。

※3 実績によって報酬が変わる場合は、資格取得月の前月1ヵ月間に、同事業所内で同様の業務に携わっている従業員の報酬の平均額を記入してください。

「①(現物)」は、報酬のうち食事・住宅・被服・定期券等、金銭(通貨)以外で支払われるものについて記入してください。

現物によるものの額は、厚生労働大臣によって定められた額(食事・住宅については都道府県ごとに定められた価格、その他被服等は時価により

算定した額)を記入してください。

⑩備考: 該当する場合に番号を〇で囲んでください。

「2.二以上事業所勤務者の取得」に該当する場合は、資格取得日から10日以内に、被保険者が『被保険者所属選択・二以上事業所勤務届』を

提出する必要があります。

「3.短時間労働者の取得(特定適用事業所等)」は、短時間労働者に係る資格取得届を提出する場合に〇で囲んでください。 「4.退職後の継続再雇用者の取得」に該当する場合は、この届書とあわせて『被保険者資格喪失届』の提出が必要です。

被保険者が共済組合制度の適用を受ける二以上事業所勤務者であり、健康保険の徴収給付を行わない場合は、「5.その他」を〇で囲み、()内

に「他事業所で共済加入」とご記入ください。

⑪住所 : 住所は上段に住民票住所を、下段に居所を正確にご記入ください。なお、日本国内に住民票(個人番号)を有していない等、住民票住所を記入できない場

居所等を記入の上、「1.海外在住」「2.短期在留」「3.その他」のいずれか該当する理由を○で囲み、「3.その他」に○をした場合は、その理由をご記入

ください。

②資格確認書発行要否: 資格確認書の発行が必要な場合(※)は「□発行が必要」にチェックを入れ、発行理由(⑦~⑨)を記入してください。

資格確認書発行理由 ※以下に該当する場合に限ります。

⑦マイナンバーカードを取得していない者、マイナンバーカードの返納者

④マイナンバーカードを保有しているが健康保険証利用登録を行っていない者、利用登録解除を申請した者、利用登録解除者

ウマイナンバーカードの電子証明書の有効期限切れの者

添付書類

・60歳以上の方で退職後の継続再雇用の場合

ア、就業規則・退職辞令のコピー等退職日が確認できる書類、および継続して再雇用されたことが確認できる雇用契約書のコピー

イ.上記「ア」の書類が添付できない場合、事業主の証明書(退職日、再雇用日が記載されているもの)等

お知らせ

・この『被保険者資格取得届』を提出し、資格取得の確認および標準報酬月額が決定されると、『資格取得確認および標準報酬月額決定通知書』が事業所に送付されますので、 事業主は通知内容を被保険者に通知してください。